

藤村富美男選手の「物干し竿バット」

藤村富美男選手は、タイガース
球団創立当時から活躍し「ミス
ター・タイガース」と呼ばれた名
選手です。1974年に野球殿堂



入りしています。三塁手として知られていますが、呉港中学時代
は投手として1934年の夏の甲子園大会で優勝、プロでも通算
34勝しています。特に戦後は、「物干し竿」と呼ばれる長いバツ
トを使って長打を量産しました。1リーグ時代最後の1949年には
本塁打王、打点王となりMVPに選ばれ、翌1950年には首位
打者で、シーズン191安打を達成。この記録は、1994年にイチ
ロー選手(オリックス)に抜かれるまで44年間も日本記録でし
た(昨年、タイガースの後輩となるマートン選手がイチロー選手
の210安打を抜き、214本の日本記録を達成しました)。

当館には藤村氏が本人からご寄贈いただいた「物干し竿バット」
が1本あります。同じくタイガースに在籍していた弟の藤村隆男
選手と間違えないためでしょうか、「藤村富」と書かれています。
実際に測ってみると長さは92.5cmあります。イチロー選手の

バットは85cmなので、比べると
7.5cmも長いバットです。ちなみ
に、公認野球規則ではバットの長
さは42インチ(106.7cm)以下

となっています。これは野球が日本に伝わる以前の1869年に
米国で決められたルールが残っているもので、実際に打てるかど
うかは別にして、藤村選手の「物干し竿」よりもっと長いバツ
トもルール上はOKなのです。

バットの主なルールの変遷は以下の通りです。

1857年	木製の円い棒で太さが直径2 1/2インチ(6.3cm)以下(長さは自由)
1869年	長さ42インチ(106.7cm)以下(※)
1874年	全体が木製でなければならない(木製バットの場合は現在も同じ)
1885年	片面の一部は平面でもよい(円い棒でなくてもよい)
1893年	円い棒でなければならない(※)
1895年	太さが直径2 3/4インチ(7.0cm)以下
2010年	太さが直径2.61インチ(6.6cm)以下(日本では2011年から)(※)

※印は現在と同じ